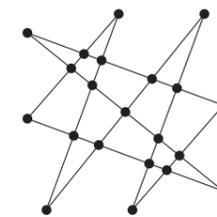


PostgreSQLのハイパフォーマンスチューニングに特化した、
日本でただひとつのコンサルティングファーム。



www.insight-ltd.co.jp



INSIGHT
Focus on the core

CORPORATE PROFILE

土台そのものを変える。

自主自立の経営戦略は、

オープンソースデータベース
自由で開かれた土台にこそ宿る。

Change the layer.

Self-reliant business strategies reside in vendor-free ICT infrastructures,
especially open source databases.



CONCEPT

コンセプト



「Move the arrow」

私たちに関わるすべての人に有意義な時間が生まれ、
より多くの成功を共有し、豊かな人生を希求する。



PostgreSQLのハイパフォーマンスチューニングにおいて
日本を代表するブランドになる。



- 人と人とのつながりを大切にし、感謝を胸に真心で向き合います。
- 相手の心情を思いやり、傾聴によって正しい相互理解に努めます。
- 常識に縛られず、物事の本質を多面的にとらえて深く洞察します。
- 知識の共有を重んじ、パフォーマンスの全体最適化を徹底します。
- いかなるときも最善策を導き、積極的に取り組む社風を築きます。

BUSINESS

事業内容

自主自立の経営戦略は、 オープンソースデータベース 自由で開かれた土台にこそ宿る。

経営者なら誰しも、自社の経営戦略を他社の胸三寸に左右されることを潔しとしないでしょう。データドリブン時代の今日にあって、ビジネスの意思決定プロセスを担う重要なデータベースを、特定企業の製品やサービスに過度に依存することは絶対に避けなければなりません。とりわけ市場支配的地位の濫用が疑われるベンダーに対しては、自衛措置を計画的に講じていくことが肝要です。

商用データベースが過去に果たしてきた役割や、現在のオープンソースデータベースに与えた影響の大きさは計り知れません。その事実に対しては、相応のレスポンスがあって然るべきと考えます。その反面、ベンダー本位の課金体系や廉価版の提供停止、あからさまな自社サービスへの誘導施策など、ユーザーとして思うところが多いのも、また事実ではないでしょうか。

土台そのものを変える。

PostgreSQLはオープンソースデータベースにおける白眉です。極めて高度なシステム要件が求められるケースを除けば、もはや商用データベースでなければならない理由はありません。実際に多くの企業やプロジェクトは、どちらが合理的な選択肢であるかを正しく理解しています。

しかしながら、いざ蓋を開けてみると、意に反して非合理的な判断が支持されることが往々にしてあります。その理由は商用データベースと比較して、PostgreSQLに対する経験が圧倒的に不足していることに尽きます。不慣れなものをリスクとして捉え、無意識に回避しようとするのは人として自然な反応であり、その心理的な障壁こそが最も厄介な敵といえるでしょう。

私たちは、こうした現状維持バイアスを打ち破るために、PostgreSQLに関する高度なナレッジを提供します。貴社におけるPostgreSQL推進活動の水先案内人として、ぜひお役立てください。一社でも多くの日本企業が自主自立の経営戦略に立ち戻る、その一助となれるよう最善を尽くします。

ADVANTAGE

インサイトの強み

プロが認める 卓越した専門性

High-Performance Tuning

ハイパフォーマンスチューニング



教育機関で あることの信頼性

Knowledge Transfer

ナレッジトランスファー



「OSS-DB Gold × OCP」の希少性

Database Migration

データベースマイグレーション



国内唯一のPostgreSQL専門企業

PostgreSQLに関する製品やサービスを、事業の一部として提供している企業は枚挙にいとまがありません。翻って、純粋にコミュニティ版のPostgreSQLだけに的を絞り、高度なナレッジを提供することにフォーカスしている企業は、はばかりながら日本国内でインサイトのみです。インサイトの経営戦略は「引き算の美学」に基づいており、すべてのリソースを一点集中することで、その成果を最大化する狙いがあります。ときに同業他社からも支援を求められる専門性で、あらゆる難課題を根本解決へと導きます。

LPI-Japan OSS-DBアカデミック認定校

これからPostgreSQLへの対応を推進し、エンジニアリングチームの内製化を見据えている企業にとって、中長期的なナレッジの蓄積と体制の強化は最重要課題のひとつといえるでしょう。しかし、自己啓発に依拠した取り組みに終始しては、かえって属人化のリスクを孕みます。インサイトは、OSS-DB技術者認定資格の取得を目指す受験者に、質の高い教育を提供する企業としてLPI-Japanに認定されています。インサイトでは、ナレッジトランスファー型の独自のスタイルで、貴社のチーム作りをお手伝いします。

PostgreSQL推進活動の水先案内人

脱Oracleプロジェクトにおける躰きは、OracleとPostgreSQL、いずれか一方、あるいは両方のアーキテクチャに対する無理解から生じます。たとえばSQLの構文など、表面的な部分で移行性の高さが際立つだけに、内部動作の細かな違いは見過ごされることが多いように感じます。インサイトのコンサルタントは、全員がOSS-DB Goldの保有者であると同時に、OCP (ORACLE Certified Professional)でもあります。そのためミスリードのない、勘所を押さえた、失敗しない脱Oracleコンサルティングをお約束します。

SERVICE

サービス

真にベンダーフリーなハイパフォーマンスデータベースを必要とするお客様のために、PostgreSQLに関する高度なナレッジを提供します。お客様の課題に合わせて、2つのサービスからお選びください。

トラブルの
未然防止と
緊急回避

INSIGHT
PROTUNE

プロジェクトレベルの課題に対応

比類なきパフォーマンスの追求

PostgreSQL
エンジニアの
内製化支援

INSIGHT
PROFORCE

経営戦略レベルの課題に対応

ベンダーロックからの計画的な脱却

フルオーダーメイドのPostgreSQLコンサルティングサービス

お客様のご要望やご予算に合わせて、最適なコンサルティングメニューを提案いたします。
同業他社様におかれましては、貴社サービスと連携した支援をさせていただくことも可能です。

CASE STUDY

PostgreSQLコンサルティングの
事例をご覧ください。▶



PostgreSQLプロジェクトにおけるビジネスクリティカルな状況の 未然防止と性能改善のためのベストプラクティス

INSIGHT PROTUNE

PostgreSQLをハイパフォーマンスな状態に
最適化するためのナレッジを提供する、
プロジェクト参画型のコンサルティングサービスです。

—このようなニーズに対応します—

1.

ビジネスクリティカルな状況の未然防止

- 失敗の許されないプロジェクトにおいて手戻りをなくしたい
- 圧倒的なパフォーマンスでカスタマーエクスペリエンスを向上させたい
- 脱Oracleプロジェクトを成功に導きたい

2.

パフォーマンスの問題を抱えている

- 手探りでチューニングを試みているが、思うような成果が得られない
- PostgreSQLのバージョンアップ等で実行計画が変化したクエリが大量にある
- Oracleと同等のパフォーマンスを担保するのに苦労している

3.

原因不明のトラブルに悩まされている

- PostgreSQLに明るいメンバーがおらず、原因の切り分けが進まない
- サポートデスクに問い合わせているが、的を射た回答が得られない
- 緊急事態が生じており、暫定対応もしくは根本解決が急がれる

プロフェッショナルなDBチームのための PostgreSQLエンジニア内製化タスクフォース

INSIGHT PROFORCE

これからPostgreSQLへの対応を推進し、
エンジニアリングチームの内製化を見据えている企業のための、
ナレッジトランスファー型のコンサルティングサービスです。

—このようなニーズに対応します—

1.

従来型のテクニカルサポートサービスでは 自社のニーズにマッチしない

- マニュアルレベルの回答ではなく、課題の本質を捉えた的確な助言がほしい
- システムの数や規模が大きいため、それを基準とした課金体系が馴染まない
- PostgreSQLに関する課題について包括的に相談できる顧問がほしい

2.

PostgreSQLエンジニアリングチームの 内製化を図りたい

- 日々のDBタスクにおける不明点についてOJTを実施してほしい
- PostgreSQLに関する設計ガイドや手順書などを整備したい
- OSS-DB Silver / Goldの受験対策などの勉強会を開催してほしい

3.

脱Oracleを計画的に推進したい

- 脱Oracleが可能なシステムと、そうでないものを正しく切り分けたい
- OracleとPostgreSQL、それぞれが混在する状況に対処する必要がある
- システムの移行期間が限られており、勘所を押さえておきたい

COMPANY

会社概要

OUTLINE / 会社概要

- 商号 株式会社インサイト (Insight Ltd.)
- 設立 2012年4月11日
- 資本金 3,000万円
- 代表者 代表取締役 後藤 孝憲
- 所在地 〒104-0054 東京都中央区勝どき3-13-1 フォアフロントタワーII 12F
- 事業内容
 - PostgreSQLのハイパフォーマンスチューニング
 - PostgreSQLのナレッジトランスファー
 - 脱Oracleコンサルティング

HISTORY / 沿革

- 2012-04 株式会社インサイトを設立
- 2013-08 本社を東京都中央区築地三丁目に移転
- 2014-08 資本金を1,000万円に増資
- 2017-04 本社を東京都中央区勝どき三丁目に移転
- 2018-02 資本金を2,000万円に増資
- 2019-03 資本金を3,000万円に増資



TOP MESSAGE

ご挨拶



—— 勝ち続けるために必要なこと

私たちの人生において残された時間は、そう多くありません。その限られた時間を豊かに、そして有意義に過ごすためには、自己の本質と向き合い、いちばん大切にしたいものが何であるかを明確にして、その一点に集中することから始まります。私は企業経営に対しても、これと同じ考えを持っています。

どのような企業であっても、経営資源が無限ということはないでしょう。世界的な技術革新と価格競争の渦中であって、真に価値のある仕事をし、勝ち残っていくためには、自社のコア・コンピタンスを正しく認識して、効果的な投資を継続しなければなりません。当社では、データベースのパフォーマンス・チューニングのノウハウをコア・コンピタンスと捉え、経営資源を集中することで、その成果を最大限に顧客に還元してまいります。

—— “時間”という目に見えないコストを圧縮する

当社がデータベースに着目し、パフォーマンス・チューニングに注力しているのには理由があります。情報システムの構成要素において欠かすことができず、いったん失ってしまうと代替の利かない唯一無二の資産、それがデータです。つまり、情報システムの本質であるデータを、安全に取り扱うための中核技術であるデータベースが何にもまして重要で、その安定性やパフォーマンスが情報システム全体の業務生産性、ひいては企業としての市場競争力に大きく影響すると考えるからです。

「失われた30年」とも形容される経済状況下で、私たち日本人は、ともすれば自信を失いがちです。しかし、これほど長きにわたる停滞期を経てもなお、確かさの代名詞としての“Made in Japan”は、その輝きを失っていません。私は、“時間”という目に見えないコストを圧縮し、限りある経営資源を事業の本質部分に集中することで、その先の未来へ繋がっていくものと信じています。

長年、当社が蓄積してきたデータベースのノウハウが、これからの日本企業の輝かしい発展の一翼を担うことができたなら、これに勝る喜びはありません。

株式会社インサイト
代表取締役 後藤 孝憲